

クラブ活動におけるコロナ感染拡大予防の計画書

参照:ワールドラグビー

“新型コロナウイルス感染症：(COVID-19)に伴う：ラグビー活動の安全な再開について”

サイトURL

[https://playerwelfare.worldrugby.org/content/getfile.php?h=2e55f3d3546dceb0f0e63277e1deed5d&p=pdfs/covid/guidelines/World\\_Rugby\\_RTP\\_JA.pdf](https://playerwelfare.worldrugby.org/content/getfile.php?h=2e55f3d3546dceb0f0e63277e1deed5d&p=pdfs/covid/guidelines/World_Rugby_RTP_JA.pdf)

・ワールドラグビーが設定する濃厚接触者

感染者と接触のあった人（1メートル以内、および、15分以上の接触があった人）

適切な個人用防護具等なしに感染者の世話を直接行った人

感染者と同じ密閉環境に一定の期間滞在した人（職場、教室、家庭を共有した人、あるいは同じ集会に参加した人）

あらゆる移動手段で感染者と近接した状態（1m未満の距離の分離）で移動した人

感染者が大声で話したり、笑ったり、咳やくしゃみをした際に出る飛沫に接触した場合

感染力がある時期の感染者と直接接した場合（両方の人物が感染するのに十分な近距離にいた場合）

感染者の咳、くしゃみによる飛沫で汚染されている物体や表面を触った場合

・再開に必要な措置；P S T措置（大阪府に当てはまるのは高体連の4段階解除）

ワールドラグビー基準

本校の練習中における措置

P： 集会の制限

→現在4名のため“集団”の定義外となる。

S： ソーシャルディスタンスの指示

→人との間隔を少なくとも1.5メートルあける。※段階的に解除

T： 移動の制限

→8月まで公式戦がないため、県をまたぐ移動は無し。

・上記の措置を踏まえて本校ラグビー部の活動内容

1. グラウンドでの個人、または少人数（合同チーム含め最大12名）でのトレーニング

→目的：けがの防止、体力の増強

2. コンタクトを伴わないスコッド（スタメンのみ）のグループ練習

→スキルの強化、チームプレーの成型

3. 20号館での筋力トレーニング

→ラグビーに必要な最低限の筋力を身に着ける、コンタクト再開時の怪我防止

※ただし、20号館トレーニングは、以下の注意すべき事項がクリアできない場合不十分ではあるものの、グラウンドでの高負荷トレーニングに切り替える必要もある。

・部活動の際に必要なと思われるもの

1. WHO が推奨する、“隔離が可能な休憩所” →体調不良者を保健室に連れていくべきなのか？
2. 着替えや荷物を置くスペース
3. アルコールスプレー等除菌薬
4. 使い捨て手袋
5. マスク

・部活動時間外での注意すべき事項

1. 水などの回し飲み  
→水筒、ボトルを個人で用意させる
2. シャワー、更衣室での密室回避（特に大人数クラブ）  
→シャワー、部室は停止もしくは封鎖すべき<ワールドラグビー参照>
3. トレーニング施設の除菌徹底、ソーシャルディスタンスの確保  
→各顧問の指導、生徒の自由判断ではなく、20号館の使用は20号館の職員の判断を仰ぐべき
4. 可能な限り、練習用具の共有は避ける  
→どうしても必要な場合、使用グループが入れ替わるタイミングで除菌
5. ミーティング等、密接になりがちな指導や会話  
→屋外、あるいは1人を中心に4㎡のスペースを確保できる空間で行う<ワールドラグビー参照>
6. 20号館またはグラウンドでの飲食の禁止  
→基本的に登下校も一人で行うべき、とにかく接触を避ける

参照：日本ラグビー協会HP→ラグビートレーニング再開のガイドライン

URL: [www.rugby-japan.jp](http://www.rugby-japan.jp)

条件抜粋：

- 1: 練習前の検温
- 2: 4 m<sup>2</sup>の距離の確保
- 3: 接触を避ける
- 4: マスク着用 ※選手の判断に任せる
- 5: 小まめな手洗い、手指消毒
- 6: 少人数でのグループ練習、各グループにコーチを付け、グループ外のメンバーとは距離をあける
- 7: 練習施設シャワー、水浴び禁止
- 8: ボトルを一人1本個人で
- 9: 器具の消毒
- 10: 総練習時間は2時間以内

以上の10点を守った上での本校での段階別練習内容

| 段階     | 活動人数     | 内容  | 条件   |
|--------|----------|---|--|
| 登校禁止   | 個人       | ・体カトレーニング、ボールトレーニング（個人）   | ・マスク着用・場合により未使用                                  |
| 分散登校   | 10人程度まで  | ・相手を付けず、ランニング、ハンドリング、キッキング<br>・体カトレーニング                                     | ・マスク着用・場合により未使用<br>・ソーシャルディスタンスの確保               |
| 通常授業①  | 50名程度まで  | ・相手を付けず、ランニング、ハンドリング、キッキング<br>・体カトレーニング                                     | ・マスク未着用可能<br>・ソーシャルディスタンスの確保                     |
| 通常授業②  | 100名程度まで | ・相手を付けず、ランニング、ハンドリング、キッキング<br>・相手を付けたチーム単位でのランニング、ハンドリング、キッキング<br>・体カトレーニング | ・マスク未着用可能<br>・ソーシャルディスタンスの確保<br>・距離を保つ指導(チーム練習時) |
| 高体連の指示 | 総員(試合含む) | ・コンタクトを含むすべての練習、およびトレーニング   | ・ソーシャルディスタンスの緩和                                  |

以上の基準に沿って練習を行います。今後第2波が来ることも考慮し、5つの段階を示させていただきます。

※現在大阪府の発表と照らし合わせると通常授業②に当てはまるが、上記の内容はあくまで生徒が可能な練習の目安とし、当面自主練習を行う。

クラブ活動再開について

初夏の候、保護者の皆様におかれましては、日頃より本校のクラブ活動にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、コロナウイルス禍の影響で本校クラブ活動が休止し3か月となりました。部員、並びに保護者の皆様も現状の回復時期がいつになるのか不安に感じておられることと思います。我々顧問、学校関係者ともに、クラブ活動を通じたお子様の成長の機会をできるだけ早く持ちたいと願いつつ、コロナウイルス終息後の活動内容について日々話し合いを重ねてまいりました。

つきましては、大阪府の緊急事態宣言も解除され、コロナウイルス禍終息の兆しが見えつつあることも踏まえ、本校ラグビー部の活動を、下記事項を踏まえつつ再開させていただく予定です。

なお、下記事項に記します、今回の活動内容は暫定的なものであり、現状を鑑みたものとさせていただきます。そのうえで、部員、並びに保護者の皆様のご意思を最優先した、自由意志のもとでの活動参加、という形をとらせていただきたいと思いますと考えております。その点、ご理解いただき、下記の承諾書をご提出ください。

活動時期：6月15日(月)より

活動場所：旧校舎グラウンド

活動内容：3密を除く、体力、技術向上の活動

徹底事項：

- (1) 自由意志のもとでの活動参加
- (2) 身体的接触を伴う練習の厳禁(日本ラグビー協会のガイドラインに従います)
- (3) 手指消毒、検温等感染予防指導の徹底
- (4) 他クラブとの密接を避けるため、十分な間隔と時間の確保

以上

-----  
キリトリ線

部活動参加同意書

上記の内容を理解し、下記生徒の部活動への参加を

【 承諾する ・ 承諾しない 】。

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 生徒氏名

\_\_\_\_保護者お名前